

「131千葉地本一部『交流会議』不参加」

千葉地本から本部へ四点の申し入れ

一、オ24回全国青年部長会議における千葉地本に係わる決定事項は、規約違反であることを明確にして、その具体的発動である南東青年部第オ11号（？）

二、オ8回拡大支部代表者会議は、29日13時より動力車会館において各支部代表者及び地本大会代議員・傍聴者約70名が参加して開かれ、1.31本部『交流』会議をはじめ、当面の取り組みについて決定した。

と、『交流』会議の前提条件ははたして整っているのか？

101回定中委における千葉地本・地青三役に対する査問委設置・統制処分策動以降、オ24回全国青年部長会議での千葉地青の『権能停止決定』という暴挙、『綾部向題』に代表される中央本部による規約規則・耗減運営ルール無視・千葉地本無視の組織指導、さらに、「千葉地本は敵対矛盾である」とする青木書記長発言、東スロック組織部長会議における「千葉地本再建のため団結ガンバロー」なる城石組織部長の音頭。などなど……。

このようない方の側からの異常なまでの千葉地本に対する攻撃をそのままにしておいて――はたして本部のいう『交流』会議なるものの前提条件があるといえるだろうか？

このままで『交流』会議を强行するならば問題の解決どころか、むしろ逆に、より悪化させるだけであるとわれわれは考える。

千葉地本の基本的態度

以上の基本的認識を千葉地本のものとして確認し、オ8回拡大支部代表者会議は、
「1.31『交流』会議」への参加の前提条件が、次の各点の先行解決にあることを確認決定した。

このままで『交流』会議を强行するならば問題の解決どころか、むしろ逆に、より悪化させるだけであるとわれわれは考える。

われわれの與いの結果、革マル派との追すい分子の反動性は全組合員の前に暴露され、危耗意識にかられた彼らは、
「水本問題」を持ち込み、三里塚・ジエント闘争を内部から圧殺し、「貨物安定宣言」を强行し、いよいよその反動性を吐き出しにしてきている。周知のように、彼らを批判し反対する者に対して、反動的なテロ・恫喝・排除の論理をほしいままに、おそいかかるという事が今日常态化してしまつていて。

これが正常な労働運動といえるか！

一、四〇〇組合員・家族は、総決起行動をもつて、自らの生活と職場を守るために労働の戦闘的伝統を正しく継承発展させる大改革運動を決意した。

教動の80年代を廟い抜く労働運動の構築をめざして断乎固りを貫徹しよう！

オ8回拡大支部代表者会議は、29日13時より動力車会館において各支部代表者及び地本大会代議員・傍聴者約70名が参加して開かれ、1.31本部『交流』会議をはじめ、当面の取り組みについて決定した。

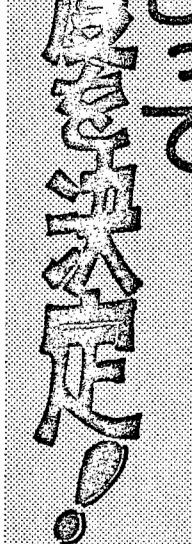


79.1.31
No. 21

国鉄動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八九(公衆)四四二二七二〇七

日刊 動力千葉



12.15付の回収と今泉鷹東地評議長、同村上青年部長に対する粗暴統制の処置ならびに動力車新の掲載。
二、「千葉地本は敵対矛盾である」「裏切り者には自由はない」とする青木書記長発言の撤回と自由批判。
三、東スロック組合部長会議において、「千葉地本再建のため団結ガンバロー」なる音頭をとった城石組合部長の謝罪と自己批判。
四、青年部學習文庫、オ2号「千葉問題の本質的解決のために」の全面回収と謝罪。

重大な決意を込めて、動労の大改革運動を展開しよう！